

第35回 全日本少年サッカー大会函館地区予選 開催要項

- 1 目的 函館の少年サッカーのレベル向上を図るとともに、2011年度第35回全日本少年サッカー大会道南ブロック大会に函館地区代表として出場するチームを決定する。
- 2 名称 第35回全日本少年サッカー大会函館地区予選
- 3 主催 函館サッカー協会
- 4 主管 函館サッカー協会4種委員会
- 5 期日 決勝トーナメント
2011年5月7日(土)、5月8日(日)
代表決定戦・順位決定戦
2011年5月14日(土)
予備日 5月15日(日)
- 6 会場 八雲陸上競技場(代表決定戦)、各小学校グラウンド等
- 7 参加資格 ① (財)日本サッカー協会第4種に、必ず今年度登録済みのチーム、選手であること。
② 1チームの選手エントリーは16名以内とし、学年構成は問わない。
ただし、複数チームエントリーをする場合には、1つのチームに6年生は8人以上登録されていなければならない。
③ 本大会参加選手はスポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる傷害保険に加入手続き完了の者でなければならない。
④ 代表3チームは第35回全日本少年サッカー道南ブロック大会(苫小牧)への出場を義務付ける。
⑤ 女子登録選手の参加を認める。
⑥ 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任のある指導者であること。
また、内1名以上が本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
- 8 競技方法 ① 参加チームによるトーナメント戦を行い、地区代表ならびに優勝から3位までの順位を決定する。
② 競技時間は40分(ハーフタイムのインターバルは10分)とする。
③ 同点の場合はいわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。
代表決定戦以降は10分の延長を行い、なお決しないときは、PK方式で代表チームを決定する。
④ 前年度新人戦ベスト3、チビリンピック優勝の4チームにシード権が与えられる。
- 9 競技規則 ① 本年度(財)日本サッカー協会制定「8人制サッカールールと審判法」の「8人制サッカールール」による。
② 1チーム8人の競技者によって行われる。チーム競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
③ チーム編成は、指導者4名、選手16名とし、登録選手全員が自由に交代することができる。これは、「交代して退いた競技者が交代要員となって再び出場できる。」ことをいう。
④ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

- ⑤ 本大会において、退場させられた者は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会規律委員会で決定する。
- ⑥ 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- ⑦ 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ⑧ ボールは、少年用4号球とする。
- ⑨ スパイクシューズは危険を避けるため、取り替えポイントでないものとする。すねあてを着用すること。
- ⑩ 審判は3人制とする。

10 競技のフィールド

- ① フィールドの長さ（タッチライン）は68m、幅（ゴールライン）は50mとする。
- ② ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは、2.15mとする。
- ③ ペナルティエリア等

ペナルティエリア	12m
ペナルティマーク	8m
ペナルティアークの半径	7m
ゴールエリア	4m
センターサークルの半径	7m
- ④ 自由な交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける。（ハーフウェーラインを挟んで3mずつ）

11 参加料 大会参加料は _____ 円とし、当日、会場責任者に支払うものとする。

- 12 帯同審判
- ① 参加チームは帯同審判員を必ず帯同させること。
 - ② 帯同審判は、大会期間中、審判業務に当たらせることとする。

13 開会式 行わない。

14 閉会式 2011年5月14日（土）の代表決定戦・順位決定戦終了後、同会場で行う。準決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加することを原則とする。

15 選手登録 別添ファイルをEメールにて小川（事務局）
fahakodate-u12-committee@apost.plala.or.jp, まで送信してください。
 申込期日 5月2日（月）17:00 まで

16 その他 試合結果はその日の内に大会担当者《 小川 》に連絡してください。

17 今年度のシード

トラック協会	優勝	サン・スポーツ
	準優勝	七飯フェアネス
	第3位	昭和FC

チビリンピック 優勝 フロンティア・トルナーレ